

## 元気の出る話題

島根県芸術文化センター

副センター長 鎌谷 正文

副センター長の鎌谷と申します。この春に異動でこちらに参りましてから、スタッフ全員が真摯に業務に取り組んでいることばかりではなく、グラントワが地域の中で大切にされ、様々な方々に支えられていることを実感しております。

グラントワ全体で、既に50万人を超えております。

### 2. 中国地方で最多の美連協表彰を受賞

全国の公立美術館約150館が加盟する美術館連絡協議会では、優れた展覧会の企画等を毎年顕彰しております。大変権威ある表彰とされております。中国地方では18館が加盟しております、グラントワが通年で事業を始め

### 1. 集客力は全国8位?

美術館の平成29年度の来館者は、64,806人で全国に65施設ある都道府県立美術館の中で40位です。これは、他の施設に比較して所在地周辺の人口規模が小さいことが大きな要因ですが、施設が所在する市町村の人口1万人当たりの来館者数で比較すると、なんと、8位。

県内55%、広島県と山口県で35%、その他10%で、県内外から多くのお客様をお迎えしており、開館以来、グラ

ントワ通りに向かってまっすぐに延びる参道のように整備された中島染羽線の愛称が、「グラントワ通り」と名付けられました。建物とともに素晴らしい景観をなしており、これが更なる賑わいにつながるよう、皆さんと盛り上げていきたいと思っております。

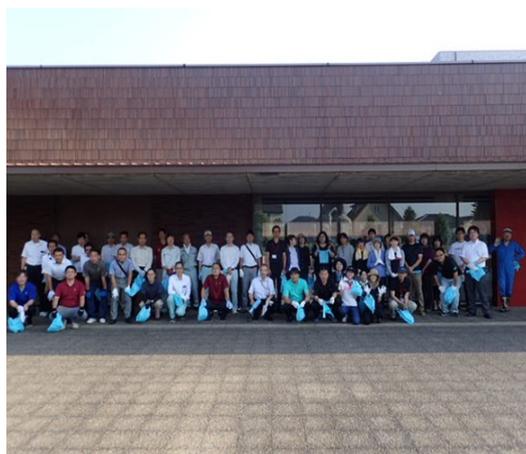
### 3. 前の通りの愛称が「グラントワ通り」に決定

### グラントワ入館者500万人ありがとう セレモニー開催!

5月8日(水)、グラントワでは、記念すべき500万人目のお客様をお迎えしました。セレモニーでは、いわみ芸術劇場の木原館長による太鼓演奏と職員が手作りしたくす玉でお祝いしました。

グラントワは2005年10月8日に開館し、13年7ヶ月での入館者500万人となりました。開館以来、たくさんの方にご来館いただきました事をスタッフ一同、心より感謝申し上げます。

(文化事業課 坂根 里香)



# 広島交響楽団 島根定期演奏会

指揮… 現田 茂夫

ピアノ… 鐵 百合奈

7月28日(日)午後2時開演

情報発信ボランティア

大庭 明博

## 【演奏曲目】

ベルリオーズ … 序曲「ローマの謝肉祭」  
シューベルト … 交響曲第5番

—休憩— (予測です)

サン＝サーンス… ピアノ協奏曲第2番  
ラヴェル … ボレロ

## 【演奏会にはメイン曲があります】

2年ぶりの広響コンサートメイン曲はサン＝サーンスのピアノ協奏曲なのではと思われまます。首都圏・関西圏では珍しくない構成ですがグラントワでは初めてではないでしょうか。よくあるパターンは例えば次のようです。

- 1 曲目＝序曲など10分未満のもの。
- 2 曲目＝ピアノやヴァイオリンとオーケストラとの協演。

—休憩—

3 曲目＝交響曲や管弦楽曲

後半の3曲目がメイン曲で、同時にコンサートとの締めとなります。曲の長さや重い軽いも考えて決められます。

## 【演奏曲順は誰が決めるのでしょうか】

今回の場合、オーケストラの音楽監督、あるいは指揮者がある一定の狙いをもって決められたことと思います。

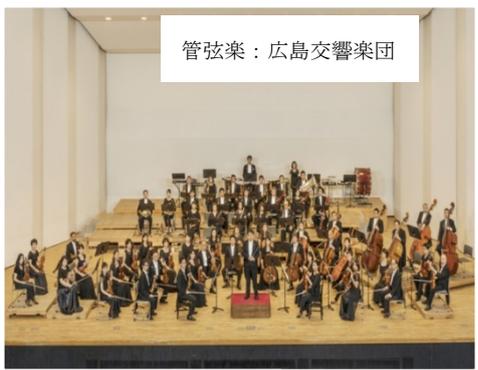
① 一昨年の日本音楽コンクール・ピアノ部門で第2位の鐵百合奈さんがソリストで、コンクール本選での演奏曲と同じ曲を演奏されること。

② サン＝サーンスの第2番は、演奏機会がそう多くはありませんが、華麗で、コンサートを盛り上げてくれる曲想を持っていること。

③ シューベルトはロマン派の作曲家ですが、第5番はクラリネット、トランペット、ティンパニを使用しない古典派の時代によく見られた編成で作曲されているこじんまりした曲。

④ ピアノ協奏曲をメインに、有名な「ボレロ」のオーケストラ演奏を締めとして、来場客にコンサートの後半を十分楽しんでもらえる。と、というような感じで定石から離れた構成

とされたのではと考えます。こんなふうにはピアノスト・鐵百合奈さんにスポットライトの当たったプログラムに私たちも注目して鑑賞することで、コンサートをより良く楽しめることと思います。



## 【鐵百合奈さんのことなど】

第86回・日本音楽コンクールの模様をBSプレミアムで視聴しました。惜しくも第1位を逃したものの、抜群のテクニクとエスプリに富み音楽性十分の演奏で岩谷賞(聴衆賞)を獲得されています。今回の定期演奏会でのメイン・プログラムとしての演奏がとても楽しみです。それから指揮者の現田茂夫さんの奥様は、5年前、グラントワのオペラ「夕鶴」公演で「つう」を演じられたソプラノの佐藤しのぶさんで、お二人と一緒に来演されました。演出・市川右近さん、美術・千住博さん、衣裳・森英恵さんなど錚々たる布陣による素敵な舞台芸術を楽しむことができました。



指揮：現田茂夫

### 【フランスの作曲家に囲まれて・・・】

ベルリオーズの「ローマの謝肉祭」は「さあ朝ですよ、起きなさい！」っていう感じの序奏に続いて、優しくまるやかなイングリッシュ・ホルンからヴィオラへと受け継がれる綺麗なメロディーのあと、曲は賑やかに展開していきます。失敗に終わったオペラの二つのテーマをもとに作曲者が演奏会用の序曲として書いたものです。

シューベルトだけはオーストリアの作曲家ですからフランス音楽を特集した演奏会とはならなかったようです。「交響曲第5番」は19歳の時の作品で可憐な魅力を持つさわやかな音楽です。全4楽章で第2楽章がとびきり美しい緩徐楽章となっています。

サン＝サーンスの「ピアノ協奏曲第2番」はファンタスティックな雰囲気のパノ・ソロで始まる美しくもドラマティック

な第1楽章。ティンパニの軽快なリズムに誘われるようにピアノがテーマを弾き始める爽やかでエレガントな第2楽章。そして第3楽章は急速で迫力に富み一気呵成にひきまくるピアノ独奏ではじまり、オーケストラとの対話というよりもスポーツ競技の始まりのようなスピード感のある音楽が聴きどころです。鐵百合奈さんのピアノ演奏を、東京藝術大学音楽学部の先輩でコンサートミストレスの蔵川瑠美さんが共感をもって盛り上げて、華やかなステージとなることでしょう。



コンサートミストレス  
蔵川瑠美

### 「世界を食べる

### グラントワ・マルシェ」

### 盛況でした

五月晴れの5月4日、グラントワの中庭で開催されました。アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカなど、世界の料理が大集合。益田市内の学校給食も登場しました。グラントワボランティア会はハワイの伝統的なデザート販売しました。

大勢のお客さんの入場があり、にぎわいました。あちこちのお店で食を求めている行列ができていました。お昼ごろには売り切れのお店ができるほどでした。



ハワイの伝統的なデザート「ハウピア」



## ボランテティア活動

### 「生花のグループ」

グラントワの玄関、入口、コーナー、洗面所などにきれいな花で皆様をお迎えしています。  
このグループは、週二回（火・金）、材料を持ち寄って、花を活け、飾っています。



### 「ギャラリー・トークのグループ」

学芸員から毎回研修を受け、土日祝日にレクシヨ（所蔵品）のトークを実施します。今回は「森英恵展（静と動）」の研修の風景と、学芸員と今回参加したボランテティアメンバーの写真です。



### 「発送のグループ」

グラントワからのイベント情報、ニュースなどのチラシ、ポスター、文書を封書で皆様にお届けしています。  
宛先のシール貼り、袋詰め、梱包、発送など、手際よく行います。毎月の作業です。  
発送先は協力いただける施設関係や会員の方々です。



令和になって初めての「応援団通信」をお届けします。

新元号「令和」は万葉集の“梅花の歌”から採用されています。

万葉集と言えば地元益田では何と言っても柿本人麻呂と県立万葉公園です。五月の連休に万葉公園にでかけました。さっそく「まほろぼの園」（曲水の宴ができる園）の梅の木の傍に「令和」の解説文の看板が設置されたのをみつけました。多くの観光客が新緑のあざやかな公園内を歌碑や万葉集に出てくる花や木を眺めながら散策している姿を見ました。新元号にちなんだ観光地として脚光をあびることとなりました。

新元号の設定の趣旨などからして「悠久の歴史、誇り高き文化、四季折々の美しい自然」を大切に

にし、次の時代に引き継いでゆく時代の到来と言えると  
思います。令和の時代はそんな  
美しい日本の地を求めて  
多くの観光客が訪れるので  
はないでしょうか。

多くの魅力あるこの地が  
多くの人々との交流が進み、  
活性化してますます住みやす  
い街となることを願うもの  
です。

（哲）

